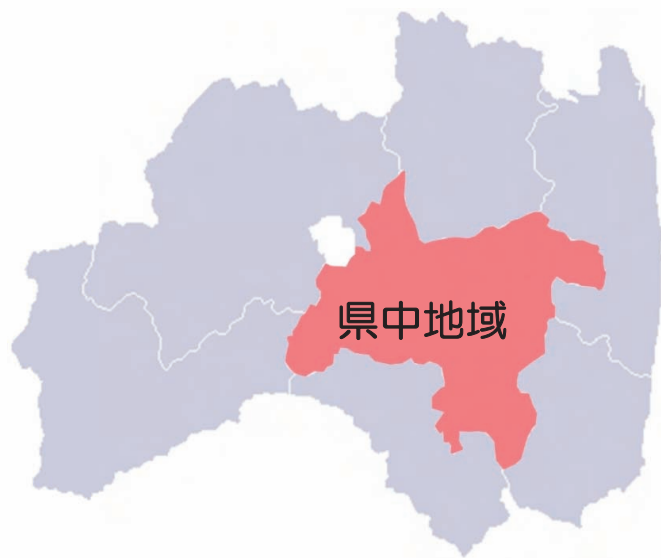


県中地域

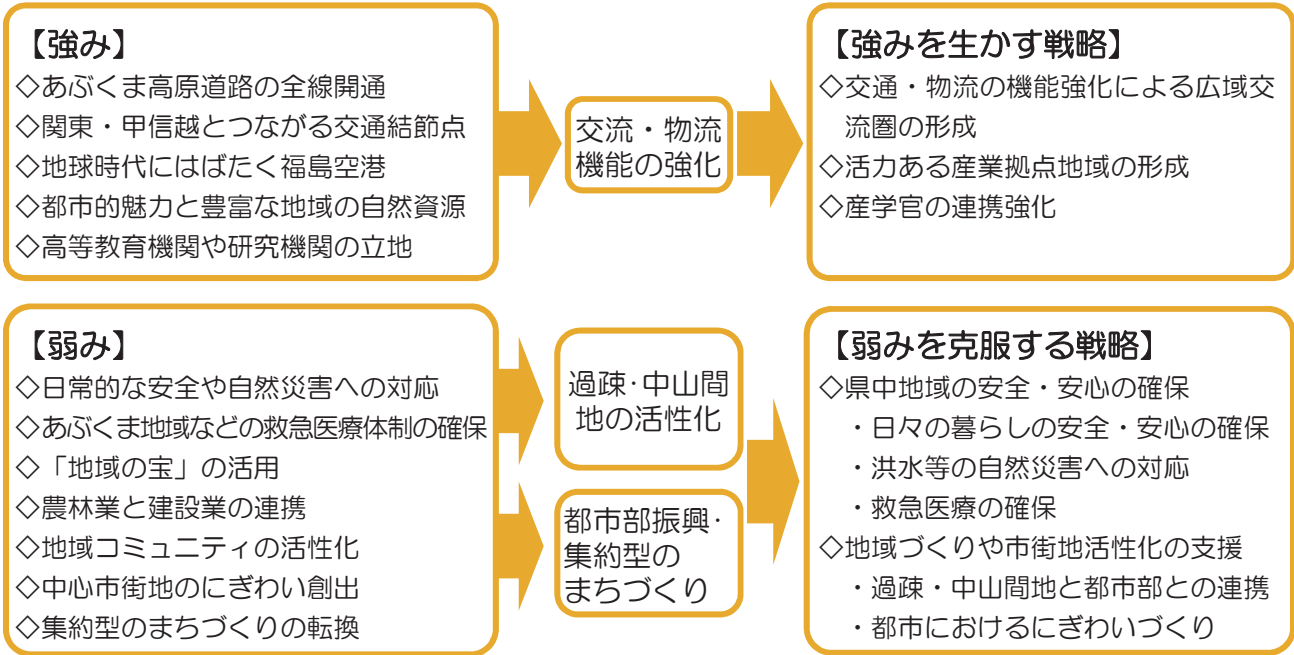


滝桜（田村郡三春町）



1. 地域の現況、特性

(1) 地域の現況



(2) 現在の社会資本の状況

①心豊かなライフスタイルが展開できる地域の形成

- ◇県道河内郡山線（さくら通り）などでユニバーサルデザインを取り入れた歩道整備を進め、利便性や快適性が向上しました。
- ◇また、こまちダム完成により治水安全度の向上や生活用水の安定確保が図られ、南川放水路などの河川改修事業により、安全でやすらぎのある県土づくりを進めています。



こまちダム



福島空港



あぶくま高原道路

②産業拠点地域と国際・広域交流の形成

- ◇福島空港や東北自動車道、磐越自動車道が整備されていることに加え、あぶくま高原道路の平成22年度全線供用等により、広域交流の基盤となる高速交通体系が形成されています。
- ◇また、これらの道路と産業拠点地域とを結ぶ国道等の幹線道路の整備により、更なる広域交流の基盤づくりを進めています。

③都市機能の充実強化と地域内連携・交流の促進

- ◇郡山駅^{こうたんばら}庚辰原線（郡山駅前大通り）の整備により地域のシンボルとなる快適な歩行空間を提供しています。
- ◇また、下水道や公園等の整備を進めることにより、快適で利便性の高い都市基盤づくりを進めています。
- ◇さらに、県道郡山大越線や県道飯野三春石川線の整備などにより、過疎・中山間地域の生活圏ネットワークづくりや地域内連携・交流を進めています。



郡山駅庚辰原線

2. 課題

(1) 広域交流圏と産業拠点地域の形成

- ① 県中地域と県内外との交流や物流を促進するため、会津・県南と結ぶ国道294号や、小名浜と結ぶ県道いわき石川線などの整備を進める必要があります。
- ② 県中地域の交通の要衝としての地理的優位性を生かし、産業拠点形成や企業誘致促進のため、東北自動車道や磐越自動車道などへのアクセス道路を整備する必要があります。
- ③ 日本大学などの高等教育機関やハイテクプラザなどの研究機関の立地を生かし、産学官の連携を図りながら地域づくりなどを支援する必要があります。

(2) 県中地域の安全・安心の確保

- ① 日常生活の安全・安心を守るため、住宅や社会資本の適正な維持管理や歩道ネットワークの整備を進める必要があります。
- ② 浸水被害対策として、逢瀬川や桜川などの市街地の河川の整備を進める必要があります。
- ③ 「いのち」を守るため、医療施設やヘリ基地へのアクセス道路を整備する必要があります。

(3) 地域づくりや市街地活性化の支援

- ① あぶくま地域や郡山市湖南地区、天栄村羽鳥・湯本地区などの過疎・中山間地域における地域づくりを支援し、ソフト・ハード両面での取組みを進める必要があります。
- ② これら過疎・中山間地域どうしや、郡山や須賀川の中心市街地との連携や交流の促進を図り、双方の地域活力が向上するように努めます。
- ③ 空洞化する中心市街地の活性化や、公共交通の利用促進を図るため、地域と一体となり、ソフト・ハード両面で取組みを進める必要があります。



国道294号
道路線形不良、対向車線へ



国道288号(郡山市)
混雑状況



県道田村安積線
歩行者の危険な状況



桜川 出水状況



郡山市内渋滞 緊急車両状況



郡山市街地
人通りの少ない歩道



県道小野郡山線
地域の方たちと現地確認



消防防災ヘリコプター
(基地：玉川村)



県道郡山湖南線
幅員狭小、線形不良

実現に向けて

(1) 交流・観光・物流の支援

◇福島空港の利用促進に努めるとともに、あぶくま高原道路などの道路網の整備を進め、「ヒトやモノ」の交流拡大、地域資源の連携強化、広域観光及び物流を支援します。また、広域観光の一環として、あぶくま地域を南北に縦断する「桜回廊」を形成します。

(2) 高度技術産業などの支援

◇東北自動車道や磐越自動車道へアクセスする国道288号などの道路整備を進め、高度技術産業の維持・発展と企業誘致などを支援します。

(3) 安全・安心の確保

◇災害に強い川づくり、使いやすい道づくりや歩道づくりを進め、県中地域に住み、県中地域を訪れる誰もが安全・安心できる地域を実現します。

(4) あぶくま地域などの支援

◇小野、古殿地区などのあぶくま地域や郡山市湖南地区、天栄村羽鳥・湯本地区などで、魅力アップに繋がるソフト・ハード一体となった地域づくりを展開し、住民自ら進める持続可能な地域づくりを支援します。具体的には、過疎・中山間地域の広域交流のひとつとして、道づくりを介し湖南地区と湯本地区住民が進める「こみち交流会」などの支援を行います。

(5) 自然環境との共生

◇生態系に配慮した逢瀬川や桜川などの整備、水質保全や生活環境改善に向けた下水道などの整備を進め、県中地域の豊かな自然環境との共生を図ります。

(6) 地域づくり支援の取組み

◇地域づくりを支援する道路、河川などの整備や管理に当たっては、地域の歴史、文化はもとより、先人達が守り育ててきた景観、樹木などの自然環境や歴史的施設を生かしながら、地域と共に進めます。



あぶくま高原道路整備状況



田村西部工業団地



歩道整備状況



天栄村住民との現地調査
「地域の宝」発掘



逢瀬川 整備済み状況



黒石夢歩道 郡山市中田地区

4. 行動計画

(1) 広域交流圏形成の支援

- ①広域交流や物流を支援する道路の整備を進めます。
 - ・国道294号(福良バイパス)①、県道いわき石川線(石川バイパス)②、県道郡山大越線(山田工区)③など
- ②産業拠点地域の形成支援のため、東北自動車道や磐越自動車道へアクセスする道路を整備します。
 - ・あぶくま高原道路④、国道288号(富久山イパス)⑤ 平成21年度一部供用、三春西バイパス⑥・船引バイパス⑦など



歩道パトロールの状況

(2) 県中地域の安全・安心の確保

- ①日常生活における安全・安心

予防保全の考え方を取り入れ、施設を安全に使えるよう管理します。また、日常のパトロールを強化、施設の長寿命化を計画的・戦略的に行っていきます。

未来を拓く子供たちが安全で安心に通行できるような歩道ネットワークの整備を推進します。

 - ・県道田村安積線(正直工区)⑧など
- ②浸水被害対策

治水対策だけでなく、環境対策も含めた河川整備や管理を進めます。

 - ・逢瀬川(郡山市)⑨、桜川(郡山市・三春町)⑩など
- ③緊急医療対策

過疎・中山間地域における医療・福祉を支えるといった「命を守る道路」の整備・管理を進めます。



逢瀬川イメージ



国道288号三春西バイパス整備中

(3) 地域づくりや市街地活性化の支援

- ①過疎・中山間地域で住民自ら進める地域づくりに対し、ソフト・ハード一体となった取組みを進めます。

ソフト：個性的で魅力ある美しい地域づくりに向けた「地域づくり懇談会」による、あぶくま洞都路線の沿道環境整備などや各種「イベント」の支援など

ハード：県道郡山湖南線(三森Ⅰ工区)⑪、県道小野郡山線(高倉工区)⑫、県道飯野三春石川線(黒木工区)⑬など
- ②合併市のまちづくりを支援する道路などの整備を進めます。
 - ・国道118号(松塚バイパス)⑭、県道船引大越小野線(今泉)⑮、県道郡山大越線(下大越)⑯など
- ③中心市街地のにぎわいづくりのため、ソフト・ハード一体となった取組みを進めます。

ソフト：郡山都市圏総合都市交通マスタープランの推進

ハード：東部幹線⑰・県道荒井郡山線⑱・県道河内郡山線⑲(電線共同溝) 須賀川駅並木町線⑳など



東部幹線完成イメージ



地域づくりの支援

※番号①などは「3地域ビジョン行動計画」に概略位置を表示

| 指標名 | 指標の定義・計算式 | 目標指標 | | |
|-----------------------------|---|---------|---------|---------|
| | | 現状(H20) | 目標(H26) | 目標(H31) |
| 通学路の歩道整備により安全性が向上した小学校数 | 小学校から概ね1km圏内における通学路の歩道整備を実施した小学校数 | 67校 | 83校以上 | 105校以上 |
| 地域づくり活動を支援した地区数 | 元気ふくしま、地域づくり交流促進事業などとの連携により、これまでの地域活動が更に活発になった地区や新たな取組みが始まった地区数 | 15地区 | 17地区以上 | 18地区以上 |
| 安全で安心して通れるように配慮して整備された歩道の延長 | 段差の解消等、利用者の安全性に配慮して整備された歩道延長 | 20km | 26km以上 | 31km以上 |
| 長寿命化のための橋りょう補修対策を実施した箇所数 | 福島県アセットマネジメントシステムに基づき実施した橋りょう点検結果により要対策とされた橋りょうの補修実施箇所数 | 5橋 | 23橋以上 | 35橋以上 |